

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)芦屋山手町プロジェクト 新築	階数	地上3F、地下1階
建設地	芦屋市山手町121番	構造	RC造
用途地域	第一種低層住居専用地域、法22条	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,500時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年5月末 予定	評価の実施日	2022年5月30日
敷地面積	1,954㎡	作成者	澤田 剛
建築面積	781㎡	確認日	2022年5月31日
延床面積	2,954㎡	確認者	矢川 修宏



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>当敷地より北はさらに斜面が続くため、阪急沿線や幹線道路(山手幹線)から山並みへの眺望を阻害することはない、周辺景観から建物ボリュームが突出する事もない、街並みの連続性が確保できている建物として計画しています。</p> <p>また、建物東側(斜面地の地盤の低い側)の3階部分をセットバックさせる事や各階ごとに化粧リブにて壁面の水平</p>		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>内装材には、F☆☆☆☆を使用し、良好な空気環境の形成を行っている。また、各住戸に採光窓を大きく確保することで、高い昼光率を確保している。</p>	<p>計画時には、インテリアパースを作成し、内装計画の事前検討を行っている。</p>	<p>道路側に緑地を確保することで、良好な景観を形成している。</p>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>日本住宅性能表示基準における等級3相当としている。</p>	<p>リサイクル材を積極的に採用し、地球環境に配慮した建物としている。また、有害物質を含まない材料を使用することで、化学物質の使用低減を行っている。</p>	<p>駐車場、駐輪場を確保している。周辺の車両通行量に配慮した車両動線とすることで、地域への交通負荷に配慮した計画としている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される